

蜂产品疗法丛书

蜂 针



疗 法

葛凤晨 孙哲贤 ◎ 主编

吉林科学技术出版社

蜂产品疗法丛书

蜂 针 疗 法

葛凤晨 孙哲贤 主编

吉林科学技术出版社

蜂产品疗法丛书

蜂针疗法

葛风晨 孙哲贤 主编

责任编辑:司荣科 郝沛龙 封面设计:吴文阁

*

吉林科学技术出版社出版、发行

长春新华印刷厂印刷

*

850×1168 毫米 32 开本 5 印张 119 000 字

2005 年 8 月第 1 版 2005 年 8 月第 1 次印刷

定价:10.00 元

ISBN 7-5384-1676-5/R·903

版权所有 翻印必究

如有印装质量问题,可寄本社退换。

社址 长春市人民大街 4646 号 邮编 130021

发行部电话/传真 0431-5635177 5651759 5651628

编辑部电话 0431-5635176

电子信箱 JLKJCBS@public.cc.jl.cn

网址 www.jkebs.com

前　　言

近年，随着现代科学技术的飞跃发展和人民生活水平的提高，蜂产品从古老的传统应用型向现代的创新应用型发展，蜂产品的开发利用达到了前所未有的广度和深度，蜂产品的多样性和多功能在医疗、食疗保健中表现出特殊的作用，治愈了很多疾病，帮助一些人摆脱了亚健康，很多不治之症在应用蜂产品之后出现了奇迹，得到缓解和恢复，使一些重病患者从死亡线上挽救过来，蜂产品的疗效深入人心，小蜜蜂成为人类的健康之友。

我国应用蜂产品的历史悠久，在民间流传着许许多多利用蜂产品治病、养生、美容的验方和经验，这些都是千百年来形成的民间蜂疗传统，在此基础上，现代社会实践中又出现了许多应用蜂产品防病治病的新配方和临床病例，极大地丰富了蜂产品医疗和食疗方剂，传统的古方、民间的验方、现代的配方等层出不穷，在医疗、食疗保健中发挥着重要的作用，创造了较大的社会效益和经济效益。

为了更好地发挥蜂疗保健功能的优势，帮助更多的人走向健康之路，我们在多年的研究基础上进一步研究挖掘、观察实验、收集整理，积累了很多蜂产品治疗疾病的临床方剂和病例，组织

专业技术人员编写了这套蜂产品疗法丛书，从蜂蜜、蜂王浆、蜂花粉、蜂胶到蜂毒、蜂蜡、蜂蛹虫，按品种分类编写出 8 册，供广大读者了解蜂产品和选择蜂产品奇方时作参考。由于水平所限，书中错误之处仍在所难免，诚恳地希望广大读者批评指正！

作 者

2005 年 5 月

目 录

第一章 蜂毒的成分和作用

一、蜂毒的来源.....	(1)
二、蜂毒的性质和理化成分.....	(2)
三、蜂毒的药理作用.....	(4)
(一) 蜂毒对神经系统的作用.....	(5)
(二) 蜂毒对心血管系统的作用.....	(5)
(三) 蜂毒对血液系统的作用.....	(6)
(四) 蜂毒有抗炎作用.....	(6)
(五) 蜂毒的抗菌作用.....	(6)
(六) 蜂毒的抗肿瘤作用.....	(7)
(七) 蜂毒的防辐射作用.....	(7)
(八) 蜂毒的其他作用.....	(7)

第二章 蜂毒疗法的适应证及禁忌证

一、蜂毒疗法的适应证.....	(8)
(一) 胶原病或自身免疫缺陷性疾病.....	(8)
(二) 神经系统疾病.....	(9)
(三) 心血管系统疾病.....	(9)

(四) 变态反应性疾病	(9)
(五) 外科疾病	(9)
(六) 妇科疾病	(9)
(七) 内科疾病	(9)
(八) 五官科疾病	(9)
(九) 皮肤科疾病	(9)
(十) 其他疾病	(10)
二、蜂毒疗法的禁忌证	(10)

第三章 蜂疗室及设备

一、蜂疗室	(11)
二、蜂疗设备	(11)

第四章 蜂毒的用法

一、皮肤敏感试验（皮试或试敏）	(13)
二、活蜂蜇刺法	(14)
三、散刺法	(16)
四、直刺法	(16)
五、蜂毒注射法	(16)
六、蜂毒电离子导入法	(17)
七、超声导入法	(18)
八、蒸气吸入蜂毒法	(18)
九、无痛蜂蜇疗法	(18)
十、蜂毒软膏外用	(19)
十一、蜂毒片剂	(20)
十二、蜂毒应用注意事项	(20)

第五章 蜂毒反应及处理

一、局部反应	(22)
二、全身反应	(23)
三、蜂蛰过敏和过敏休克	(24)
四、蜂蛰反应的处理与急救	(24)

第六章 人体经络和腧穴

一、经络	(27)
二、人体腧穴	(30)
三、人体腧穴分布图	(33)
(一) 手太阴肺经腧穴图	(33)
(二) 手阳明大肠经腧穴图	(34)
(三) 足阳明胃经腧穴图	(35)
(四) 足太阴脾经腧穴图	(36)
(五) 手少阴心经腧穴图	(37)
(六) 手太阳小肠经腧穴图	(38)
(七) 足太阳膀胱经腧穴图	(39)
(八) 足少阴肾经腧穴图	(40)
(九) 手厥阴心包经腧穴图	(41)
(十) 手少阳三焦经腧穴图	(42)
(十一) 足少阳胆经腧穴图	(43)
(十二) 足厥阴肝经腧穴图	(44)
(十三) 督脉腧穴图	(45)
(十四) 任脉腧穴图	(46)
(十五) 经外奇穴腧穴图	(47)
(十六) 周身腧穴图	(50)

第七章 蜂毒的临床应用

一、关节炎类疾病	(56)
(一) 风湿性关节炎	(56)
(二) 类风湿性关节炎	(57)
(三) 肩关节周围炎(肩周炎)	(59)
(四) 强直性脊柱炎	(60)
(五) 颈椎病	(60)
(六) 腰椎间盘突出症	(61)
(七) 急性腰扭伤	(62)
(八) 慢性腰部劳损	(62)
二、皮肤科疾病	(62)
(一) 系统性红斑狼疮	(62)
(二) 疣赘	(64)
(三) 硬皮病	(65)
(四) 皮肤真菌病——癣	(67)
(五) 银屑病	(69)
(六) 白癜风	(69)
(七) 神经性皮炎	(70)
(八) 皮肤瘙痒症	(70)
(九) 带状疱疹	(71)
(十) 痔肿	(71)
(十一) 结节性红斑	(72)
三、神经系统疾病	(73)
(一) 坐骨神经痛	(73)
(二) 三叉神经痛	(73)
(三) 面神经麻痹	(74)
(四) 偏头痛	(74)

(五) 癫痫	(75)
(六) 神经衰弱	(76)
(七) 多发性神经炎	(76)
(八) 肋间神经痛	(77)
(九) 桡神经炎	(77)
(十) 尺神经炎	(78)
(十一) 正中神经炎	(78)
(十二) 臂丛神经痛	(78)
四、心血管系统疾病	(79)
(一) 高血压	(79)
(二) 脑卒中后遗症——偏瘫	(80)
(三) 血管闭塞性脉管炎	(80)
(四) 脑卒中、心绞痛的预防	(81)
五、消化系统疾病	(82)
(一) 肝硬化	(82)
(二) 胃十二指肠溃疡	(83)
(三) 肠道应激综合征	(84)
(四) 慢性胆囊炎	(84)
六、呼吸系统疾病	(85)
(一) 感冒	(85)
(二) 支气管哮喘	(86)
(三) 肺气肿	(86)
(四) 慢性支气管炎	(87)
七、造血系统疾病	(87)
(一) 血小板减少性紫癜	(87)
(二) 白细胞减少症	(88)
八、外科疾病	(88)
(一) 下肢静脉曲张	(88)
(二) 腱鞘炎、腱鞘囊肿	(89)

(三) 颈淋巴结核	(90)
(四) 滑囊炎	(90)
(五) 冻伤、冻疮	(90)
(六) 痹	(91)
(七) 膝关节积液	(92)
(八) 踝关节扭伤	(92)
(九) 运动员扭伤、挫伤	(92)
(十) 丹毒	(93)
(十一) 体表良性肿瘤	(93)
(十二) 落枕	(93)
(十三) 甲状腺囊肿	(94)
九、妇科疾病	(94)
(一) 慢性盆腔炎	(94)
(二) 月经不调	(95)
(三) 更年期综合征	(95)
(四) 急性、慢性乳腺炎	(96)
(五) 痛经	(96)
十、五官科疾病	(97)
(一) 泪囊炎	(97)
(二) 耳聋	(98)
(三) 酒渣鼻	(98)
(四) 鼻炎	(99)
(五) 急(慢)性扁桃体炎	(99)
十一、其他疾病或症状	(100)
(一) 阳萎	(100)
(二) 痙疾	(100)
(三) 腿脚抽筋	(101)
(四) 牙痛	(101)
(五) 耳鸣	(101)

(六) 呃逆	(102)
(七) 手足麻木	(102)
(八) 体质虚弱	(102)
(九) 小儿麻痹	(103)
(十) 痛风	(103)
(十一) 流行性腮腺炎	(104)
(十二) 遗尿	(105)
(十三) 疤痕疙瘩	(107)
(十四) 伤口感染	(108)
十二、临幊上尚无特效疗法的疾病	(109)
(一) 乙型病毒性肝炎	(109)
(二) 肿瘤	(113)
(三) 戒毒	(120)
(四) 糖尿病	(121)

第八章 养蜂常识

一、蜂群和蜂势消长规律	(124)
二、蜂巢的巢脾	(126)
三、巢脾关系和蜂路	(127)
四、扩大蜂巢和缩小蜂巢	(128)
五、蜂群的箱内检查和箱外观察	(130)
六、补充饲喂和奖励饲喂	(134)
七、盗蜂和防止盗蜂	(135)
八、人工种植蜜源植物	(137)

附录 典型病例报道

一、她又扬起了生活的风帆	(139)
---------------------	--------------

二、30年前轰动全国的“军队的女儿”今何在?	(141)
三、蜂蛰治疗腮腺炎有奇效	(142)
四、蜜蜂蛰刺戒掉10年毒瘾	(144)
五、以毒攻毒——德国研究用蜂毒对付艾滋病	(145)
参考文献	(146)

第一章 蜂毒的成分和作用

一、蜂毒的来源

蜂毒是蜜蜂蛰针器官毒囊分泌的具有芳香气味的液体，蜜蜂蜇人时从贮毒囊中经蛰针排出注入皮肤，刺激性很大，产生烧灼感样疼痛。国内外众多学者均称此为“蜂毒”。但也有的学者称蜂毒为“蜂针液”。

蜂群中工蜂和蜂王有蛰针，雄蜂无蛰针。蜂群中只有工蜂御敌利用蛰针这种武器，当蛰针刺入皮肤后，由于蛰针有倒钩，加之皮肤受蛰刺激收缩，蛰针不能拔出，蛰针及毒囊都断裂留在皮肤上。蛰针由2根坚硬的针刺相互钳合而成，尖端特别细而尖，中央呈管状，与毒囊相通，以便蛰刺时输送毒液。同时在交感神经支配下，毒囊还会有节律的收缩，使留在皮肤上的蛰针越刺越深，直至毒液全部排出为止。工蜂失掉蛰针及毒囊以后，不久即死亡。

医疗上用蜂毒治病，主要是利用活蜂蛰刺，即用饲养的蜜蜂（中蜂或西蜂均可）。大蜜蜂和一些有毒针的野蜂，因尚未人工饲养成功，暂不能利用直接蛰刺治病，加之大蜜蜂和野蜂毒囊中蜂毒含量多，直接蛰刺反应大，疼痛难忍，因此不可贸然实行。野生小蜜蜂可以直接利用蛰刺治病，但多数小蜜蜂品种无蛰刺。

现已能用科学方法人工提取蜂毒，饲养的蜜蜂和大蜜蜂的蜂毒均可人工提取，如乙醚麻醉法和电取蜂毒法，经取毒的蜜蜂，虽然受到一些伤害，苏醒后仍能飞回蜂巢或飞往花间采集。

国内50年代就已制成蜂毒注射液用于临床，笔者于50年代就使用过北京一制药厂生产的蜂毒注射液。近年来吉林省扶余县

制药厂等也成功地生产出蜂毒注射液，蜂毒注射液和活蜂蛰刺各有优缺点。蜂毒注射液可以掌握用量，可以穴位注射至深部，特别是治疗某些皮肤病，可局部封闭（某些皮肤病病变部位变硬，蜂蛰针蛰不透）。但蜂毒注射液在制剂过程中，损失一些有治疗作用的挥发物质，在某些疾病的治疗上疗效不如蜂蛰，即蜂蛰能使毒液中全部物质进入体内，更好地发挥蜂毒药物的“全价”作用。另外，直接用蜂蛰治病，非常方便，不用注射器，方法简易，在简陋条件下可实行，费用最廉。

刚羽化的幼蜂毒腺中无蜂毒，或有微量蜂毒，直至 10 ~ 15 日龄蜂毒增至 0.1 ~ 0.4mg，成蜂最多排毒 0.8mg。用电刺激取毒器可从 15000 只蜜蜂中取到 1g 蜂毒。蜂毒贮藏在毒囊内，以后数量不在增加，毒囊内的蜂毒一经排出，以后不再补充。但实际捉蜂蛰刺时难以判断蜜蜂是几日龄，选择多大年龄的蜂蛰刺毫无意义。

二、蜂毒的性质和理化成分

蜂毒是一种无色或微黄色透明液体，味苦有芳香气味，含水分 80% ~ 88%，呈酸性反应（pH 值 5.0 ~ 5.5），相对密度 1.1313，化学性质稳定，在 0.1 当量的苛性钠和硫酸中经 24 小时不会变质。蜂毒溶于水和酸，不溶于乙醇。干燥蜂毒加热至 100℃，经 10 天仍不失其生物活性，冰冻亦不减其作用，在密封和干燥条件下，能保持作用达数年之久。但在胃肠消化酶的作用下，很快失去活性，这是因为蜂毒中的活性物质多属肽类物质，为氨基酸所组成，易被蛋白酶分解和破坏。

蜂毒的化学成分复杂，人们对其认识是逐步深化的，开始时有人简单地把它的化学成分看成是蛋白质毒素，以后有人认为它的药效和毒性来自含氮的有机物，也有人根据它的溶血功能将它有效成分说成是中性非氮皂素与卵黄素的结合物。蜂毒的化学成

分在奥地利、英国、保加利亚、德国、前苏联等国已研究了 50 年。

现已查明蜂毒是具有高度药理学和生物学活性的复杂混合物，蜂毒的有效成分是多肽类、酶类、生物活性胺、碳水化合物和一些其他成分。

(一) 多肽类

蜂毒中主要成分是多肽类，其中蜂毒肽、蜂毒明肽、脱颗粒肥大细胞多肽 3 种肽是蜂毒中主要活性肽，并在实验室中合成。蜂毒肽占干蜂毒重量的 45% ~ 50%，由 26 个氨基酸组成的多肽，相对分子质量 2840，中蜂和西蜂的蜂毒肽分子结构完全相同，大蜜蜂和小蜜蜂的蜂毒肽氨基酸组成有种间差异。蜂毒明肽占蜂毒重量的 2% ~ 3%，由 18 个氨基酸组成，相对分子质量 2035，是蜂毒中第 2 个重要多肽物质。蜂毒肽有溶血作用，能引起红细胞溶解，蜂毒明肽是一种很强的神经毒素，主要作用于神经系统，它可以穿过血脑屏障，直接作用于中枢神经系统。脱颗粒肥大细胞肽（简称 MCD 肽或 401 肽）占蜂毒干物质中 2% ~ 3%，由 22 个氨基酸组成，相对分子质量为 2593。该种多肽能使肥大细胞脱粒沉降，释放组织胺和 5 - 羟色胺，有抗炎作用，其抗关节炎作用比氢化可的松强 100 倍。对中枢神经也有活性。蜂毒中还分离出镇静肽、心脏肽、四品肽、蜂肽 F、安度肽、组胺肽等。镇静肽（Secapin）又称赛卡品，由 24 个氨基酸组成，占干蜂毒量 1%，呈强碱性，有蜂毒肽相似的生物活性，具有镇静作用。心脏肽（Cardiopep）又称卡狄平，由 11 个氨基酸组成，相对分子质量为 1940，占干蜂毒的 0.7%，有抗心律失常作用，增强心功能，防止心衰。四品肽（Fertiapin）又称托品肽，由 20 个氨基酸组成，为碱性多肽，约占干蜂毒重量 < 1%，具有神经活性。蜂肽 F（Melittin - F），为 19 个氨基酸组成的碱性多肽，约占干蜂毒重量 < 1%，是一种神经毒素。安度肽（ADOLapin），具

有很强的抗炎和镇痛活性。组胺肽（Histapeptid）具有 2 种分子结构，分别占蜂毒干重的 0.6% 和 0.8%，已人工合成。

（二）酶类

蜂毒中含有 55 种以上酶类，主要酶类有透明质酸酶、磷酯酶 A₂、酸性磷脂酶、碱性磷酸脂酶、酶抑制剂、甘氨酰 - 脯氨酸芳香基酰胺酶等。透明质酸酶（Hyaluronidase）含量占干蜂毒的 2% ~ 3%，具有很强的局部生物活性，可使蜂毒在局部组织间渗透和扩散。磷脂酶 A₂（Phospholipase A₂），占干蜂毒的 12%，具有很强的溶血活性，能水解磷脂酰磷脂，使膜结构受损，待生物膜溶解后，使其他蜂毒成分易于进入膜内，发挥其生物活性作用。酶抑制剂有保护透明质酸酶、磷脂酶 A₂ 及各种活性多肽免遭蛋白酶分解。

（三）非肽类物质

蜂毒中除肽和酶类以外，还含有组织胺、游离氨基酸、碳水化合物、脂类、激素及其他各种生物胺类化合物。其中的生物胺类物质可能与蜂蜇疼痛有关。同时也是蜂毒中抗炎物质。

蜂毒中其他物质还有葡萄糖、果糖、胆碱、甘油、磷酸、蚁酸、脂肪酸、脂类、碳水化合物、游离氨基酸等。

三、蜂毒的药理作用

蜂毒是一种动物毒素，蜜蜂在进化过程中形成的一种自卫武器——蛰针，用来攻击来犯的昆虫及其他动物，使其蛰后麻痹或死亡，因此说蜂毒是一种毒性很强的毒素，人受到 100 只蜜蜂蛰刺，即可使人中毒，受 200 ~ 300 只蜜蜂蛰刺，可使人致命。根据蜂毒的药理作用，能使中枢神经受到广泛抑制，心血管系统紊乱，血压下降，呼吸麻痹，导致死亡。